

# ちいき 地域のみなさまへ



ひごろ ちいきふくし あたし しえん きょうりょく たまわ ところ かんしゃもう あ  
日頃より地域福祉に暖かいご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

ことし みつか のこ  
今年も、あと3日を残すだけとなりました。

きんじょ わたくし けいかく たきのうがたふくしせつ い か しせつ  
ご近所のみなさまには、私どもの計画した「多機能型福祉施設」(以下、「施設」といいます)

けんせつ しんばい  
の建設につき、いろいろとご心配をおかけいたしております。

げんじてん しせつけんせつ じょうきょう ほうこく  
現時点での施設建設の状況について、ご報告させていただきます。

きんじょ はんたいいけん ぎゃく おお かがた けんせつそくしん もと  
ご近所のみなさまから反対意見もいただきましたが、逆に多くの方々から建設促進を求める

しよめい かず よめい  
署名もいただき、その数は5,800余名になりました。

しよめい へいせい ねん がつ にち こうしょくしゃ た あ けんせつそくしん もと  
これらの署名は、平成19年11月15日に公職者立ち会いのもとに建設促進を求める

ようぼうしょ なごやしやくしよ ていしゅつ  
要望書とともに名古屋市役所に提出されました。

ていしゅつ しよめいだんたい だいひょう よくあつ さべつ けんり うば くる さげ あ  
提出にあたって、署名団体の代表は「抑圧と差別のなかで権利を奪われ苦しみの叫びを上げて

ひとびと しえん かつどう つづ ことれん しょうがい はいじよ しゃがい よわ  
いる人々を支援する活動を続けています。国連は、障害があるからと排除する社会は、もろくて弱

しゃがい わたし すべ ひと とも い しゃがい ねが しんたいしょうがいしゃ  
い社会であるとしており、私たちは全ての人と共に生きる社会になることを願って、身体障害者、

ちてきしょうがいしゃ せいしんしょうがいしゃ しゃがい いちいん う い たび しせつけんせつそくしん  
知的障害者、そして、精神障害者も社会の一員として受け入れてきました。この度の施設建設促進

つよ ようせい はな  
を強く要請します。」と話しました。

なごやし へんけん しょうがいしゃ せいかつ げんじつ しゃがい さべつ にんしき かんが と く もんだい  
名古屋は「偏見と障害者の生活が現実にある。社会での差別の認識を考へつつ取り組む問題

であり、5,800余名の建設促進署名は重く受け止める。」と回答されました。

しせつけんせつ しょうわく あいちけん す かがた ぜんこく しょうがい なかま しえん  
施設建設については、昭和区、愛知県に住む方々や全国の障害をもつ仲間からもご支援をいた

いただきました。私たちは、施設建設にむけて今後とも努力するつもりです。賛成の方にも、反対の方

にも誠心誠意お話をさせていただき、施設建設への理解と協力を賜るために、名古屋市とともに

せつめい ば かさ かんが  
説明の場を重ねてもちたいと考えております。

みなさまの更なるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

まっぴつ とし むか きねん  
末筆になりましたが、みなさまがよいお年をお迎えになられますよう祈念いたします。



こんご かたち じょうほう とど おも  
今後さまざまな形でみなさまに情報をお届けしたいと思っております。

でんわ いけん ようぼう よくだ  
電話、ファックス、メールなどで、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

しゃいふくしほうじん じりつ いえ  
社会福祉法人AJU自立の家

じょうむりじ やまだあきよし  
常務理事 山田昭義

しせつじゅんびしつ きとうよしのり こやまひでたか  
施設準備室 鬼頭義徳、小山秀隆

なごやししょうわくえほうちょう  
名古屋市昭和区恵方町2-15

TEL 841-5554

FAX 841-2221

info@aju-cil.com



しょうがいしゃさんだんたい しせつけんせつそくしん ようぼう

# 障害者二団体が、施設建設促進を要望

愛知県内の障害者団体より、私どもが計画している施設建設に関して、建設促進を求める要望書が名古屋市に提出されました。

読売新聞が記事を掲載していただきましたので、ご紹介させていただきます。

## 昭和区の障害者施設建設を要望

市へ3団体

社会福祉法人「AJU自立の家」(昭和区恵方町)

が、同区内に計画している「多機能型福祉サービス施

設」について、県重度障害

者団体連絡協議会(岡崎章会長)など障害者でつくる

3団体が25日、建設促進を

求める要望書を名古屋市に提出した。

この施設は、精神・知的障害者や身体障害者ら約80

人に、自立や就労訓練の場

を提供するのが目的で、市

は今年度予算に建設の補助

金を盛り込んでいる。しかし、周辺住民の理解が得られておらず、建設が止まっ

ており、今年度内の着工は難しいとみられている。

市障害者支援課の秋山智

課長は、「建設を早期に進めたい思いは変わらない。

開設後のことを考えると地域住民の理解は外せず、引

き続き説明会を重ねるなどして理解を求めていきたい」と話した。

読売新聞(平成十九年十二月二十六日)より転載